武豊町社会福祉協議会が地域の福祉情報をお届けします

わたしたちは、地域の人々のつながりを大切にし、一人ひとりの「ふだんの くらしの しあわせ」をともに追求します

たけとよのふくし

令和5年
9月1日号
第169号

今月の表紙
7月20日に行われた、わいわい子ども広場in大足の様子

赤い羽根共同募金のお願い

地域の宝物紹介
特殊詐欺を楽しい寸劇で注意喚起!「啓発寸劇ボランティアおとひめ」

おいしい焼きたてパンの
ほっと Café

ボランティアを始めてみよう!
ボランティア塾

≪9月は世界アルツハイマー月間!≫
そうだったのか認知症シリーズ
認知症専門医が教える!
認知症の方に
家族ができること10か条

親子ふくし映画会 ボス・ベイビー

この広報誌は、みなさまから寄せられた社会福祉協議会費を財源に作成しています。

編集発行：社会福祉法人 武豊町社会福祉協議会 武豊町字長尾山2番地 電話 0569-73-3104

武豊町
社協 HP

武豊町共同募金委員会からのお願い

赤い羽根共同募金運動は10月1日からはじまります

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

令和4年度、皆さまからお寄せいただきました共同募金は、計4,891,816円でした。そのうち県内福祉施設に約18%、武豊町社会福祉協議会に約82%が配分されました。この配分金を受けて、武豊町社会福祉協議会は、今年度の高齢者、障がい者、子どもたちなど、町内の地域福祉活動の事業を実施しています。

共同募金の多くは、住民の皆さまからいただいている「戸別募金」となります。その他にも募金をしていただける方法として、法人事業所様からいただく法人募金や、学校内で呼びかけをしていただく学校募金などがあり、年間を通じて募金ができる「募金付き自動販売機」や「店舗に設置した募金箱」もあります。

今年も赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

令和５年度赤い羽根共同募金配分金事業
地域福祉活動支援事業 ここちゃん活動助成金　助成団体決定報告

令和5年6月25日（日）に2次審査の公開プレゼンテーションを開催し、審査の結果、以下の2団体への助成が決定しました。

・大足子どもひろば応援チーム　　事業名「わいわい子どもひろばin大足」
・いちじく子ども食堂　　事業名「いちじく子ども食堂」

「赤い羽根共同募金協賛児童生徒作品コンクール優秀作品展示」

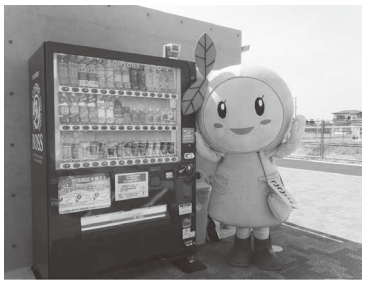
町内の小中学校を通じて応募いただいた作品の中から、優秀作品を展示します。
期間：10月7日（土）～10月22日（日）場所：武豊町立図書館入口

赤い羽根共同募金イベント「せんべいナイト★」～秋の夜長にせんべいを～

日時：10月15日（日）15時～17時　　場所：武豊町立図書館玄関付近

◆自動販売機による募金運動について

自動販売機で飲料を購入していただくと、その一部が募金となります。
この募金は地域福祉活動に活用させていただきます。
この自動販売機は、災害時に支援を受けることができる自動販売機で、災害時には、無料で飲料の提供ができます。
設置場所：武豊中央公園、味の蔵、図書館
総合体育館、運動公園、CCNCプールたけとよ



お問い合わせ　武豊町共同募金委員会　（武豊町社会福祉協議会内）
電話：0569-73-3104

9月は

世界アルツハイマー月間

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて、考えてみませんか?
武豊町でも、色々な取り組みを催します。

8/26～9/29	**図書館での認知症関連書籍コーナー**開設
9/ 1 ～9/29	**オレンジガーデニングプロジェクト** ～武豊町内各所に、オレンジの花で彩りを～ 武豊町役場ロビーにて**認知症の啓発コーナー**開設
10/28（土）	**認知症を知る講演会**　～認知症と共に生きる～
11/ 8（水）	**出張物忘れ相談会**
毎月第3木曜日	認知症介護　家族の会『**たまりん**』

お問い合わせ：武豊町地域包括支援センター　電話 0569-74-3305

そうだったのか認知症シリーズ　第2回

認知症専門医が教える!
認知症の人のために
家族が出来る10ヶ条

医療法人聖会　石川病院　脳神経内科
医療法人桂名会　大須病院　脳神経
認知症センター長
愛知淑徳大学　講師　竹内茂雄

前回ネットワークを持つことの重要性を最後に記載しましたが、公益社団法人認知症の人と家族の会から出ている「認知症」の人のために家族が出来る10ヶ条を挙げて、これに私なりのコメントを加えてみたいと思います。

『1.見逃すな「あれ、何かおかしい?」は大事なサイン。』

認知症の始まりは、ちょっとしたもの忘れであることが多いもの。単なる老化現象とまぎらわしく、周囲の人にはわかりにくいものです。あれっ、もしかして?と気づくことができるのは、身近な家族だからこそかもしれません。

『2.早めの受診を。』

治る認知症もありますから認知症が疑われたら、まず専門医に受診することをおすすめします。認知症に似た病気や、早く治療すれば治る認知症もあるのです。また、適切な治療や介護を受けるには、アルツハイマー型認知症や脳血管性認知症などをきちんと診断してもらうこともよいかもしれません。また薬剤で認知症の様な症状を引き起こすものもありますので薬投与との時間的な変化を医師に教えていただくとわかる場合もあります。尚、受診に際して認知症かもしれないと患者さんに伝えてよい場合と伝えない方が良い場合もあるため、事前に家族だけで受診相談をしても良いかもしれません。

『3.知は力。認知症の正しい知識を身につけましょう。』

アルツハイマー型認知症と脳血管性認知症では、症状の出方や進行、対応が違います。特徴をよく知って、快適に生活できるよう、その後の家族の生活や介護計画づくりに役立てましょう。専門家や専門病院で年余に見てもらっている患者さんの診断名が時に変わる場合もしばしばみかけます。問診主体で診断してもらうか検査優先か治療的診断優先か、患者さんやご家族の希望を医療機関でお話しください。

『4.介護保険など、サービスを積極的に利用しましょう。』

中には介護認定だけをしたいと受診される方もおられます。認知症の鑑別診断をすべきか認知症とだけ診断してほしいかご家族の意向をお示しください。介護保険など、サービスを利用することもおすすめです。家族だけで認知症の人を介護することは良いように作用する場合もありますが、家族が追い詰められよからぬサイクルに陥ってしまう場合も多く経験します。折角支払っている介護保険ですから介護サービスを受けることは「家族の息抜き」だけでなく、患者さん本人がプロの介護を受けたり社会に接したりする大事な機会かもしれません。

『5サービスの質を見分ける目を持とう。』

介護保険サービスは、利用者や家族が選択できるのが利点。質の高いサービスを選択する目が必要です。早い段階でサービス利用すればブラックボックスに陥ることなく利用する側にたった視点で選択できます。施設などのお試しや、軽い段階でサービスを利用すると施設利用者同士の交流や施設職員さんにも利用者さんの特性や嗜好、生活歴なども把握してもらえるでしょう。また、トラブルがあったときは、泣き寝入りせず、冷静に訴える姿勢を持ちましょう。

『6.経験者は知識の宝庫。』

いつでも気軽に相談できます。認知症カフェなども積極的につかってください。介護経験者が培ってきた知識や経験は、社会資源の一つ。一人で抱え込まずに経験者に相談し、共感し合い、情報を交換することが、大きな支えとなります。

『7.今できることを知り、それを大切に。』

知的機能が低下し、進行していくのが多くの認知症です。しかし、すべてが失われたわけではありません。失われた能力の回復を求めるより、残された能力を大切にしましょう。出来ないことに目がいきがちですが出来る事を探し褒めてあげると脳の報酬系であるドパミンが出て症状進行が緩やかになる場合もあります。

『8.恥時、隠さず、ネットワークを広げよう。』

認知症の人の実態をオープンにすれば、どこかで理解者、協力者が手をあげてくれるはず。公的な相談機関や私的なつながり、地域社会、インターネットなどのさまざまな情報を上手に使い、介護家族の思いを訴えていきましょう。

『9.自分も大切に、介護以外の時間を持とう。』

ご家族など介護者にも自分の生活や生甲斐があるはず、「介護で自分の人生を犠牲にされた」と思わないように自分自身の時間を大切にしてください。介護者の気持ちの安定は、認知症の人にも伝わるのです。

『10.往年のその人らしい日々を。』

認知症になっても、その人の人生が否定されるわけではありません。やがて来る人生の幕引きも考えながら、その人らしい生活を続けられるよう、家族で話し合いをしてください。

最後の連載を楽しみにしてください。それでは次回まで。

認知症への理解を深める!

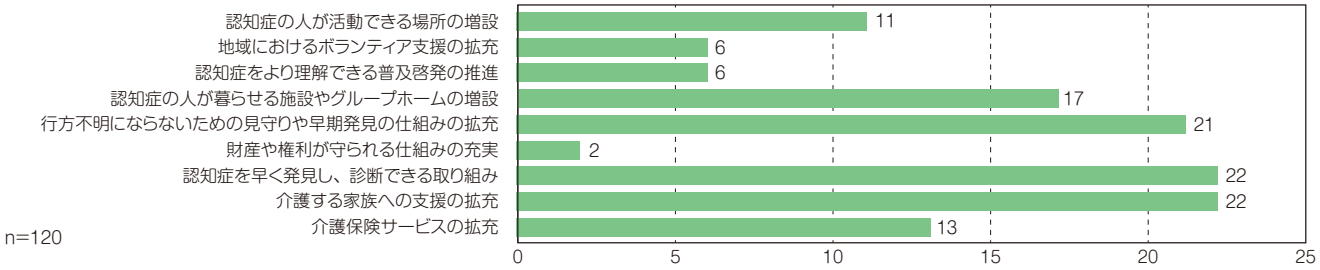
富貴小学校区にて認知症講座&座談会開催　約60名が参加

7月15日、東大高公民館で富貴小学校区の住民を対象にした講座&座談会「そうだったのか認知症」を開催しました。

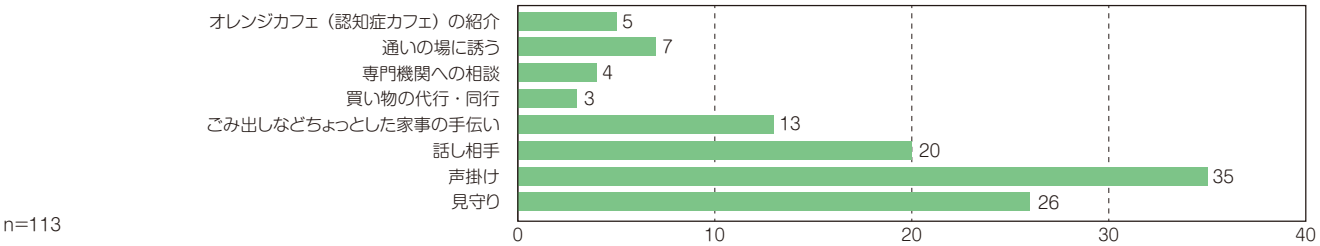
認知症看護認定看護師の榎本直美さんが認知症について「認知症と物忘れの違いは?」などといった基礎的な講演を行い、参加者によるグループワークなどを通して認知症による理解を深めました。参加者からは「認知症は他人事ではない。認知症になっても安心して暮らせる地域であってほしい」などの意見をいただきました。

また、参加者へ認知症に関するアンケートを行いました。以下が結果となります。

認知症の人や家族に対する支援について、どのようなものを求めますか（複数回答可）



ご近所に認知症の方がいたら、あなたができそうなこと（複数回答）



おいしい焼きたてパンの「ほっとCafé」

【ほっとcaféとは?】

「ほっとCafé」は障がいのある方たちの仕事を創出する活動を目的にボランティア団体のパン作り研究会の皆さんが平成27年6月にOPENしました。

自慢のパンは、当日の朝に生地を仕込み、焼きたてを提供しています。その美味しいパンの味で常連になったお客さんも多く、今でもファンを増やしています。

また食の安全についても考慮し、自家農園で年間を通して栽培した野菜を、パンやランチについているサラダやスープに使用しています。

【地域との関わり】

パン作り研究会ではカフェを通した地域との繋がりも大切にしています。

中学校の特別支援学級の生徒さん達の職業体験を受け入れ、働く場の提供を行ったり、特産の溜とたくあんを使用した「武豊たくぱん」の販売で地域活性化に協力しています。

またカフェで提供しているコーヒー豆を、多賀授産所から仕入れるなど、地域との協力や関わり合いを大切にし、住民の方々が“ほっ”とできる場所を目指して運営しています。

皆様のご来店をお待ちしております。

開催日時：第1～第3木曜日と第4土曜日
10時30分～13時
場　　所：武豊町中央公民館
メニュー：パン　160円
パンドリンクセット　360円～
ランチセット　400円～
ドリンク　250円
お問い合わせ：武豊町社会福祉協議会

地域の宝物紹介
第二十八回

特殊詐欺を楽しい寸劇で注意喚起!

「啓発寸劇ボランティアおとひめ」

このコーナーでは毎回「地域の宝物」と題して、地域福祉を支える居場所やサービス、人物等の紹介をしています。

高齢者を狙った特殊詐欺が後を絶たない中、ボランティア団体「啓発寸劇ボランティアおとひめ」の皆さんが、寸劇を通して住民に被害防止を訴える啓発活動を行ってます。

同団体は約16年前に、代表の伊佐治信子さんの母親が被害にあったことをきっかけに結成しました。寸劇の内容は、振り込め詐欺などの特殊詐欺や催眠商法や点検商法など多種多様です。それらを「憩いのサロン」といった通いの場などで、コミカルに演じることにより、効果的な注意喚起ができるように努めてみえるそうです。

その活動が評価され、今年、中部管区警察局主催の「防犯ボランティア　フォーラム」にて愛知県代表として発表されました。

メンバーの籾山哲子さんは「劇を見てくれた人が、1人でもその手口を覚えてもらい、被害を未然に防ぐことができればうれしい」と思いを話してくれました。

社会福祉協議会では、地域でボランティア活動を行う人を応援しています。「ボランティアを体験してみたい」「どんな活動があるの」などボランティアに関する相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

連絡先:武豊町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 石野 靖

武豊町母子福祉会主催　ヨット乗船体験

令和5年7月29日（土）に、富貴ヨットクラブ様のご厚意で、ヨット乗船体験を開催しました。5艇のヨットに分かれて、クルージングを楽しみました。ヨットを操縦させていただいたり、スナメリが見られたりと、貴重な体験ができました。乗船後は「また乗りたい!」との声が多くあがりました。富貴ヨットクラブの皆様、ありがとうございました。

その後は母子会員の皆さんで昼食をとり、ビンゴゲームをしました。

会員募集中!

武豊町母子福祉会は随時会員を募集しています。同会は武豊町在住のひとり親家庭や寡婦の方々が、交流や楽しみの場をつくる会です。ヨット体験をはじめ、日帰り旅行などのイベントを、年間を通して企画しています。

（入会申し込み先：武豊町社会福祉協議会　TEL 0569-73-3104）

車いすの貸出し　利用料無料

一時的に車いすが必要なときにご利用ください

通院や外出の際、一時的に車いすの利用が必要になった場合に社会福祉協議会が保有する車いすを短期間に限りお貸しします。

対　象　町内に在住の方
貸出期間　15日以内
保証金　1,000円　※保証金は返却の際に全額返金

詳細はこちら

福祉車両の貸出し　利用料無料

車いすに乗ったまま乗降できるスロープ付きの車両です。
病院への通院やお出かけが気軽にできる便利な車です。

対　象　町内に在住で車いす利用をする方及び介助する方
貸出期間　原則1日
※旅行の場合は3日以内で貸出可能です。
貸出上限　原則週1回
利用料　無料　※ただし、消費した燃料を補充して返却をしてください。
貸出車両（2台）　スズキ　エブリィ
（車いす利用者、運転手含め最大4名乗車）
スズキ　スペーシア
（車いす利用者、運転手含め最大3名乗車）
手続方法　運転者の免許証を持参の上、社会福祉協議会窓口へお越しください。利用予約は、電話でも可能です。予約は貸出日の2か月前の同日から可能です。
注　意　利用中の事故等に伴う損害賠償、修理の費用は、ご利用者様負担となります。

詳細はこちら

武豊町社会福祉協議会 行事等の予定

9月　2023 September

3日	ひきこもり・不登校の家族会
7日	ほっとCafé（14日、21日、30日） 「9月より4週目の営業は木曜日から土曜日に変わります。」
8日	リフレッシュカフェ
9日	おいでん北山「おとなりカフェ北山」
10日	おいでぁ三井家「おとなりカフェ上ヶ」
10日	介護予防教室 “50代からのヘルストレーニング” ～専門家に学ぶ健康ダイエット～（16日・23日・30日）
11日	いこいこ笠松「おとなりカフェ笠松」（25日）
12日	ここちゃんサポート相談 （ひきこもり・不登校の専門相談）（27日）
14日	社会生活講座「これで安心!親亡き後の生活」
16日	ひきこもり・不登校の居場所
17日	よし子さん家「おとなりカフェ玉西」
21日	理事会
29日	介護者のつどい
30日	ボランティア塾

10月　2023 October

1日	赤い羽根共同募金開始（3月31日まで）
1日	ひきこもり・不登校の家族会
4日	いきいき元気認知症予防教室（18日・24日）
5日	ほっとCafé（12日、19日、28日）
7日	介護予防教室 “50代からのヘルストレーニング” ～専門家に学ぶ健康ダイエット～（14日・21日）
8日	おいでぁ三井家「おとなりカフェ上ヶ」
9日	いこいこ笠松「おとなりカフェ笠松」（23日）
10日	ここちゃんサポート相談 （ひきこもり・不登校の専門相談）（25日）
13日	リフレッシュカフェ
14日	おいでん北山「おとなりカフェ北山」
15日	よし子さん家「おとなりカフェ玉西」
21日	ひきこもり・不登校の居場所
28日	認知症を知る講演会～認知症と共に生きる～

寄付御礼　（6月1日～7月31日）

社会福祉のためにたくさんの「まごころ」が寄せられました。深くお礼申し上げます。

皆様からいただいた寄付金・寄贈品は、寄付された方の希望される使途を尊重させていただきますとともに、社会福祉のため有効に活用させていただきます。

ご寄付いただいた食料品などの一部

日用品等

野菜

保存食

（敬称略）

寄付者	寄付金・寄贈品	寄付者	寄付金・寄贈品
匿名（36件）	米・玄米・野菜（じゃがいも、きゅうり、なす、かぶ、ニンニク、ミニトマト、ピーマン、ゴーヤ、ししとう、ささげ）・レトルト食品（パスタソース、クリームシチュー）・ジャム・調味料・乾麺（ラーメン、そうめん、うどん）・菓子（幼児用菓子等）・保存食・日用品（スポンジ・キッチンペーパー・食品洗剤・手洗い石けん、手指スプレー・マスク・折りたたみ傘）・ベビーカー・おむつ・パット	おいでん北山「おとなりカフェ北山」	調味料（醤油）
		長与工業株式会社　従業員一同	21,090円
		知多カントリー倶楽部	100,000円
		知多グリーン倶楽部	20,000円
		武豊町民ふれあいチャリティーゴルフ大会実行委員会	380,275円
		武豊町老人会クラブ連合会	152,672円
永田　一男	じゃがいも	竹内健二	10,000円
小栗　正美	ホッチキス針	匿名（3名）	51,000円

令和5年度ボランティア体験講座

体験 ボランティア塾

体験期間は約1か月　約15団体で体験可能!!

↑広報たけとよの音訳体験

↑手話体験

↑プロギング体験
（ゴミ拾い×ジョギング）

こんな方におススメ

◎ボランティアに興味はあるけど何をどう始めていいかわからない方

◎今やっているボランティアとは違うこともやってみたい方

◎ボランティア活動で地域とつながりたい方

1回目
9月30日（土）10時～12時　（思いやりセンター）
講話『ボランティアの楽しみ方（元日本福祉大学准教授 木全克己氏）
手話体験・昨年受講者の体験談など

2回目
10月10日（火）～11月13日（月）（団体・活動ごとの場所）
ボランティアセンター登録団体のボランティアに参加する
ボランティア活動体験（気になる活動一つ以上）

3回目
11月25日（土）10時～12時　（思いやりセンター）
体験の感想発表や、今後の活動についてなどの座談会
『コーヒークラブたけとよ』によるハンドドリップコーヒー付き

気になるボランティアを体験してみませんか?

【受講料】無料
【定　員】20名
【対　象】どなたでも
※原則3回とも受講できる方

【受付開始】9月1日（金）9時
（TELまたは右記申込フォーム）

字幕スーパー　パソコン要約筆記付き　ヒアリングループあり

親子ふくし映画会

入場無料 ボス・ベイビー

DreamWorks The Boss Baby © 2018 DreamWorks Animation LLC. All Rights Reserved.
©2018 Universal Studios. All Rights Reserved.

日　時：**11月23日(木・祝)** 14時～15時40分頃（途中休憩あり）
場　所：武豊町中央公民館 講堂　**対　象**：武豊町在住の方（定員180名）
入　場：無料　入場には整理券が必要になります。申し込みは**10月17日（火）9時より**開始します。
申し込み：上の申込フォームまたは社会福祉協議会窓口でお願いします。
問い合わせ：武豊町社会福祉協議会（☎ 0569-73-3104）

申込フォーム

映画会終了後は、子ども向けのゲームや健康チェックを行います。親子でお楽しみください。
時間：映画終了 ～ 17時頃まで

射　的　サイコロゲーム　ストレスチェック　肌年齢
ダーツ　お腹の中のVR体験　骨密度

食料品の寄付を受け付けます
寄付をするとゲームチケットがもらえるよ!

障がい事業所の製品販売を行います
溜りせんべいなど

・座席は指定席となります。（座席の番号は整理券に記載します。）
・申込みフォームより申込みの方には、整理券を後日申込みされた住所へ郵送します。

親子ふくし映画会は、みなさまから寄せられた**赤い羽根共同募金**を財源にして開催しています。

ボランティア活動は あなたから誰かへの笑顔の架け橋

ボランティアをしてみたいと思ったら、
武豊町社会福祉協議会にご相談ください。
住所：武豊町字長尾山2　TEL：0569-73-3104

三井家一般開放の様子
来場者との談笑

申込フォーム↓

ボランティア一覧↑

「たけとよのふくし」に掲載した写真を無料で差し上げます
※本人や家族などが掲載された写真に限ります。ご希望の方は、社会福祉協議会まで連絡ください。